

## 版画づくりでオリンピック・パラリンピックへの思いを！

### 1. 趣 旨—オリンピック・パラリンピックに繋がる版画創りを！

「2020年の東京オリンピック・パラリンピックの時はあんな思いで版画を頑張ってつくったんだ」という思い出は子どもたちの未来に繋がる心の宝物になるでしょう。

アスリート達はきっと優勝して表彰台に立って金メダルをもらい、たくさんの歓声に包まれて喜びを分かち合いたいという夢を描いて日々努力を重ねていくのです。そんな選手の応援を惜しまない人々が世界の国々から、おびただしく多数、来客されます。さて子ども達はこんな時世にどんな感情を持つのでしょうか？

自分も選手と一緒に気持ちになってスポーツに取り組んだ。応援する自分の心が届いて、その選手がよい成績を残した。違う国のたくさんの人々と握手をしたい！来日された人々に日本の良いところ・美しい景色・面白い行事・誇りとしていること、もの等を教えてあげたい！近所の泉のことを話したい！家族のことで自慢したいことがある！違う国の人と手振りで会話したい！仲良しになりたい！友達になり観光案内をしたい！……

子どもたちのいっぱい湧き上がる気持ちを、夢を、イメージを版画作品に表現することは、深く心に刻まれ、一生忘れられない熱いアクティブな思い出としてその後も元気に生きる力となっていくことでしょう。そして夢見る力、イメージを心に描いて努力していく力は日々の生活を心豊かにしていくことでしょう。

このような願いから今年度の日本子ども版画コンクールを企画しました。

2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けたたくさんの子どもの版表現が集まることを期待しています。

(日本子どもの版画研究会会誌第 61 号 細田和子会長挨拶より抜粋)

### 2. オリ・パラ賞—こんな作品を待っています！



・挑もうとする気持ち、夢、自分の住むまちや日本のよさ、まわりの人とのつながり、世界の国々・人たちへの関心、オリンピック・パラリンピックへの思いなどが表れている作品を審査の上選びます。

・記念ポストカードにし、受賞者、参加校に贈ります。

